

第6期

(平成30年6月1日~令和元年5月31日)

事業報告書



公益財団法人 まちみらい千代田

目 次

はじめに	1
第6期 事業報告書		
1 住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～	2
2 産業まちづくり ～地域産業の振興に向けて～	34
3 協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりにかけて～	57
4 理事会・評議員会・監査	68

はじめに

「まちみらい千代田」は、平成26年1月に公益認定を受け、昨年6月から第6期に入りました。

第6期においても【住宅まちづくり】【産業まちづくり】【協働まちづくり】の体系のもと、各事業に積極的に取り組みました。

【住宅まちづくり】

マンション関連施策では、おおむね5年毎に実施している「千代田区分譲マンション実態調査」を行い、管理費や修繕積立金の状況、駐車場の稼働率、民泊禁止規定の有無等を報告書として取りまとめました。報告書は今後のマンション支援施策の検討に活用していきます。

また、「借上型区民住宅」については、特優賃型の管理運営を行っていますが、そのうち、2棟28戸が借上期間の満了を迎えたため、区と連携しながら入居者及び建物所有者へ適切な対応を行いました。

【産業まちづくり】

弁護士によるアドバイスを受けられる「ビジネス法律相談」や、「インキュベーション施設への活動支援」を拡充しました。また、中小企業の全業種で人手不足の状況にあることから、「中小企業雇用支援」を検討するため、区内中小企業の雇用状況や大学生の中小企業への意識調査等を実施しました。調査結果は第7期の新規施策につなげていきます。

また、「地方との連携」では、「まちづくり会社等の地方の団体との交流連携方策の検討」を行い、「市町村サテライトオフィス東京」や「ちよだフードバレーネットワーク」を一層活用してもらうこととしました。

【協働まちづくり】

「千代田まちづくりサポートの実施」では、これまであまり見られなかった助成グループ同士の交流やコラボレーションしたイベントが多く見られました。さらに、普請部門の助成で整備された建物を他のグループが活動に利用するなど、地域の交流拠点として有効に機能している点も確認されました。

また、「事業報告・交流会」は、より多くの方に参加していただけるように、ちよだプラットフォームスクウェア周年記念事業と共同開催するとともに、賛助会員のためのパンフレットブースを設置するなどの工夫を行いました。

第7期も引き続き公益法人としての認識をしっかりと持ち、柔軟性と迅速性を活かした事業展開により、区民をはじめ中小企業者等の皆さんの期待に応えてまいります。

公益財団法人 まちみらい千代田

住宅まちづくり ～快適な都心居住に向けて～

「暮らす」をテーマに、安全安心で住みやすい居住環境づくりのお手伝いをします

住宅まちづくり

I	マンション居住支援	1	情報収集・発信	
			a) 総合相談窓口の設置	P 3
			b) マンション管理関係図書の貸し出し	P 5
			c) 情報紙の発行	P 6
			d) 管理会社との連絡会の開催	P 8
		2	管理・コミュニティ支援	
			a) 管理組合運営支援	P 9
			b) アドバイザーの派遣（拡充）	P 11
			c) マンションセミナー・管理講座の開催	P 13
			d) マンション連絡会の開催	P 15
			e) マンション・コミュニティ構築支援	P 17
			f) コミュニティ・イベントへの参加	P 19
			g) マンション管理組合顧問派遣	P 20
		3	建物維持・整備支援	
			a) 劣化診断等調査費助成	P 21
			b) マンション再生方針検討助成	P 22
			c) 大規模修繕工事債務保証料助成	P 23
			d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成	P 24
			e) マンション再生計画検討助成	P 25
			f) 安全・安心整備助成	P 26
		4	防災対策促進支援	
			a) 防災計画等策定支援	P 28
			b) 防災用品等準備助成	P 29
II	借上型区民住宅の管理運営		a) 特優賃型住宅の管理運営	P 31

I マンション居住支援

1 情報収集・発信

a) 総合相談窓口の設置

□事業内容

マンションに関するさまざまな相談を、窓口・電話・電子メールなどで受け付け、その相談内容に応じて、まちみらい千代田が実施している助成制度や専門家の派遣などの支援策を活用しながら、課題の解決に向けたサポートを実施していきます。現在の国の動向から、今後、民泊に関する相談が増加する事が予想されるため、民泊相談にも対応できるように、職員及び相談員の情報共有を図り、相談に対応していきます。

また、マンションに関する国や東京都、関係団体等の動向、マンションの抱える様々な課題等について、指導・助言を行う顧問を委託します。

□事業規模

相談受付予定件数	第6期実績	達成率
200件	216件	108.0%

[決算額] 4,195,258円(当初予算 4,243千円)

[第6期実施状況]

マンション管理士をまちみらい千代田の窓口に常駐配置し、電話相談や窓口相談業務を行い、迅速で的確なアドバイスを行ってまいりました。

今期も、管理組合運営について、給排水設備の更新等についての相談が多く寄せられました。

相談内容	管理組合	修繕関係	防災関係	※その他	計
窓口	20	8	0	7	35
電話	64	22	5	90	181
合計	84	30	5	97	216

※その他の主な内容は、助成制度の問合せ、建物再生についての相談など。

[過去3年間の実績]

相談内容	第4期	第5期	第6期
窓口	33件	58件	35件
電話	113件	155件	181件
合計	146件	213件	216件

[評価等]

第6期では、3棟のマンションで電話相談から窓口相談、最終的には管理組合への継続的な専門家の派遣へとつなぐことができました。

今後も利用者の立場に立った相談窓口の充実を図り、窓口相談から継続的な専門家の派遣へとつなぎ、個別のケースに応じた支援制度の紹介や協力団体の紹介等を行っていきます。

b) マンション管理関係図書の貸し出し

□事業内容

マンションの管理等に関する書籍を購入し、マンション管理組合の役員等や総合相談窓口での相談者に対して、書籍無料貸し出しサービスを実施しています。

□事業規模

予定件数	第6期実績	達成率
20件	20件	100.0%

[決算額] 45,193円（当初予算 50千円）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
貸出し件数	8件	20件	20件

[第6期実施状況]

「コンメンタール マンション標準管理規約」や「マンション管理組合会計の手引き ～基本から仕訳を中心にして～」など、電話相談や窓口相談でも活用できる19冊の図書を新たに選定し購入しました。

[評価等]

今後も電話相談や窓口相談でも活用できる図書を選定し、書籍の充実を図ります。図書貸し出しの案内チラシを作成し、「マンション連絡会」会員等に周知し、図書貸し出し実績を増やします。

c) 情報紙の発行

□事業内容

①マンションサポートちよだ

マンションの維持管理やマンションでの生活に役立つ情報を提供する情報紙「マンションサポートちよだ」を年4回定期的に発行し、分譲マンションの居住者、管理組合、関係機関へ配付します。

②マンションサポートちよだ mini

「マンションサポートちよだmini」は、マンションに関する国や東京都の動向をはじめ、首都圏での状況、マンションの管理運営方法などマンション全般にわたる情報を毎月提供していきます。

③マンションへの情報提供

マンション住民に対する情報提供の手段の1つとして、区コミュニティ総務課と連携し、区・まちみらい千代田・関係団体からの情報を取りまとめ、チラシやお知らせなどを定期的にマンション管理組合へ送付します。

□事業規模（発行部数・回数）

①マンションサポートちよだ

発行部数 10,000 部（うち送付は約 8,000 部）
年4回発行（6月、9月、12月、3月）

②マンションサポートちよだmini

発行部数 500 部
年12回発行・A4版1ページ（毎月1回）

③マンション管理組合への情報提供

年12回（毎月1回）送付 送付対象 500 件

発行項目	予定件数	第6期実績	達成率
①マンションサポートちよだ	4回	4回	100.0%
②マンションサポートちよだ mini	12回	12回	100.0%
③マンションへの情報提供	12回	12回	100.0%

[決算額] 4,784,559 円（当初予算 4,902 千円）

[第6期実施状況]

情報紙「マンションサポートちよだ」(写真)は、管理組合役員や管理会社の協力を得て、約110棟のマンションに約6千部を戸別配布し、戸別配布以外の約350棟のマンションには、各5部を郵送配布し掲示や回覧等をお願いしました。

第6期は今年予定されているマンション火災保険の値上げや、相談が増えてきている給排水設備の仕組みについての特集記事を掲載するなど、マンション管理組合や居住者に役立つ記事、“読まれる紙面づくり”に努めてきました。

その他、毎月末に区内の分譲マンション全棟の管理組合宛に、まちみらい千代田、千代田区役所、関係団体等からのお知らせをお送りしました。

[評価等]

特集記事として掲載した「マンション火災保険の値上げ」や「給排水設備の仕組み」について、情報紙を読んだ管理組合員などから質問や相談がありました。

今後も毎月、マンション管理組合やマンション居住の皆さんへ、有益な情報をお送りしていきます。



d) 管理会社との連絡会の開催

□事業内容

区内マンションの日常の管理を管理会社に委託している割合は、現在95%に上っています。

管理会社への情報提供が直接にマンションの管理組合や理事会に伝わることから、管理会社と良好な関係を築いていくことが重要です。

また、区内マンションの実態を把握する上でも、管理会社の役割は大きいと言えます。そうした観点から、管理会社との連絡会を開催します。

□事業規模

予定件数 (出席会社数)	第6期実績	達成率
1回(10社以上)	1回(6社)	100.0%(60.0%)

[決算額] 0 円(当初予算 17千円)

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
件数 (出席会社数)	1回(10社)	1回(9社)	1回(6社)

[第6期実施状況]

千代田区分譲マンション実態調査結果の概要を報告しました。また、意見交換では、マンション管理における現況の情報共有を行い、必要な支援を把握することができました。

[評価等]

議題の分譲マンション実態調査報告書の発行に合わせて連絡会を開催したため、開催時期が総会の時期である5月と重なり、参加者が減少しました。

第7期は開催時期の見直しを行い、より参加しやすい時期に実施できるようにします。

2 管理・コミュニティ支援

a) 管理組合運営支援

□事業内容

マンション管理組合の通常総会や臨時総会を開催する際の会場費の一部を助成します。

□事業規模

- ①防災計画策定済み・マンション連絡会加入のマンション管理組合
- ②マンション連絡会加入のマンション管理組合

項目	予定件数	第6期実績	達成率
①	15件	4件	26.7%
②	10件	1件	10.0%

[決算額] 13,840円（当初予算 120千円）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
①	8件	7件	4件
②	5件	3件	1件

[第6期実施状況]

助成マンション

地区	築年数	総戸数	階数	助成金額
麴町	築47年	19戸	地上8階建	3,780円
	築36年	107戸	地上12階建	1,500円
	築48年	19戸	地上7階建	2,260円
神田	築3年	46戸	地上13階建	5,400円
	築39年	64戸	地上8階建	900円

[評価等]

管理組合の総会開催は、有料の外部会場を利用するよりもマンションの集会室やエントランスを会場とする場合が多いようです。「まちみらいニュース」への掲載や「マンション連絡会」へのPR等、支援制度の周知に努めていきます。

b) アドバイザーの派遣（拡充）

□事業内容

マンションの維持管理・修繕や建替え・管理組合の運営といったマンションに関する様々な課題の解決や、共同建築や再開発の初動期における活動に対して、専門家による専門的・技術的な見地からアドバイスを受けることができるよう、まちみらい千代田に登録しているアドバイザーの中から、一級建築士・マンション管理士・再開発プランナーなどの資格を持つ適切な人材を派遣します。

□事業規模

今期の派遣対象団体数は、共同化・再開発に関する派遣6団体、マンションの維持管理に関する派遣4団体を予定しています。

（1団体あたりの派遣回数の上限は年間6回としています。）

派遣項目	予定件数	第6期実績	達成率
共同化・再開発	6団体	2団体	33.3%
マンション維持管理	4団体	3団体	75.0%

[決算額] 255,000円（当初予算 450千円）

[第6期実施状況]

第6期アドバイザー派遣の内容は、再開発に関すること（1団体→再開発プランナー派遣）、建物の共同建築に関すること（1団体→再開発プランナー派遣）、マンション維持管理に関すること（3団体→マンション管理士派遣）でした。そのうち、マンション維持管理に関するアドバイザー派遣は2団体に継続して支援しました。再開発についてのアドバイザー派遣は、計画が進んだため、まちみらい千代田での支援を終了しました。共同建築についてのアドバイザー派遣は、計画の見直しを行うとのことから派遣を終了しました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
共同化・再開発	1団体	3団体	2団体
マンション維持管理	2団体	11団体	3団体
合計派遣回数	15回	33回	17回

[評価等]

第6期は、電話相談や窓口相談からアドバイザー派遣へとつなげ、支援を行った団体が2団体あり、その団体へは現在も継続して支援を行っています。

今後もマンションの様々な相談や課題解決に向けて支援できるように、専門の各種団体等にアドバイザー登録を依頼し、派遣できる専門家を増やしていきます。

c) 千代田区マンションセミナー・管理講座の開催

(1) 千代田区マンションセミナー

□事業内容 マンション管理組合員、居住者等を対象とし、専門家によるセミナーを開催します。これからも、他団体と連携しながらタイムリーな内容でセミナーを企画します。

□事業規模

予定回数	第6期実績	達成率
1回	1回	100.0%

(2) マンション管理講座

□事業内容 マンション管理組合の役員や、マンション居住者等を対象として基本編と応用編の2つの講座を実施します。

- ① 基本編 マンション管理の基本をテーマ設定し、2回実施します。
- ② 応用編 主にマンション管理組合の役員が対象です。個別のテーマ（管理組合運営・高経年マンションの建替え・耐震診断と改修等）を設定し、2回実施します。

□事業規模

コース	予定回数	第6期実績	達成率
基本編	2回	2回	100.0%
応用編	2回	2回	100.0%

[決算額] 255,657 円 (当初予算 406 千円)

[第6期の実施状況]

(1) 千代田区マンションセミナーは、マンション内の見守りをテーマに9月29日(土)、区民ホールで開催しました(参加人数約30名)。

第1部は、住民流福祉総合研究所代表の木原孝久氏による基調講演、第2部は、「たすけあい」マンションをつくるために」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

(2) マンション管理講座（定員 30 名）は、全 4 回実施し、参加者数等は以下のとおりでした。

日 時	内 容	参加者数
9月 12 日（水） 18:30～20:30	管理組合運営と管理委託契約の変更	20 名
11 月 14 日（水） 18:30～20:30	管理組合の会計	25 名
1 月 23 日（水） 18:30～20:30	マンション設備の更新	21 名
3 月 13 日（水） 18:30～20:30	マンション再生	28 名

実施後のアンケートでは、参加者の 8 割以上から「満足」の評価をいただき、受講者からは、「理事長になることを考えているので参考になった」「重要な講座だと感じる」等の意見がありました。

なお、今後実施してほしいテーマについては、「管理組合の管理意識向上」、「長期修繕計画」等がありました。

[評価等]

千代田区マンションセミナーは、悪天候もあり、参加者は例年よりも減少しました。来期は休止し、開催日時・場所、テーマ・内容等の再検討を行います。

マンション管理講座は、テーマの選定にあたり、講座参加者及びマンション連絡会等の意見を踏まえて、より要望の高い内容を取り上げるようにします。



d) マンション連絡会の開催

□事業内容

千代田区マンション連絡会は、区内マンション管理組合理事長を会員として構成されています。隔月で開催する情報交換会では、まちみらい千代田や千代田区からの情報提供のほか会員間の情報交換を行います。

情報交換会は、管理組合の理事長、もしくは理事会等が承認した所有者、居住者が参加できます。

□事業規模

予定回数	第6期実績	達成率
6回	6回	100.0%

[決算額] 177,312円（当初予算額 185千円）

[第6期実施状況]

情報交換会を偶数月に開催し、区や関係団体等からの情報提供や参加者同士の意見交換を行いました。第6期の概要は下記のとおりです。

日付（参加者数）	主な議題・内容
6月23日（土）（17名）	第6期事業計画、マンション・コミュニティゼミ、分譲マンション実態調査について
8月18日（土）（14名）	区内の民泊実施状況、区民体育大会、分譲マンション実態調査について
10月27日（土）（21名）	大規模修繕工事の進め方と不正コンサルについて
12月15日（土）（21名）	東京弁護士会のマンション管理相談窓口、認知症地域支援推進委員について
2月23日（土）（18名）	地域包括ケアシステム、マンション火災保険料の値上げについて
5月25日（土）（16名）	災害対策・危機管理課防災セミナー案内、分譲マンション実態調査結果概要報告、区内マンション共用部分LED化について

[評価等]

まちみらい千代田や関係団体等からの情報提供により、マンションの火災保険の見直しや共用部分のLED化を行ったマンションもあり、参加者からは「参加して良かった」「非常に有益な話が聞けた」との評価を得ています。

現在は、区内分譲マンション約490棟中「マンション連絡会」の会員は約100棟ですが、多くのマンションの方に参加していただけるように引き続き加入のPRを行っていきます。

また、情報交換会が、より有益な情報・意見交換の場となるよう、会員の意見を取り入れながら、内容の充実を図っていきます。

e) マンション・コミュニティ構築支援

□事業内容

マンションの維持管理や防災対策、管理組合活動などを円滑に進めるため、その前提になるコミュニティ形成に関する活動などを支援しています。

第4期から、多額のイベント費用がかかるとして要望が多かった大規模マンションへの割増として、概ね100戸以上を対象に5割増加算しています。

第5期からは、区コミュニティ総務課の新たな取組みである「地域コミュニティ醸成支援事業」と連携した内容にも支援しています。

□事業規模

助成項目	予定件数	第6期実績	達成率
①地域協働オープン開催 (1/2助成、上限3万円)	4棟	0棟	0.0%
②マンション内限定開催 (1/2助成、上限2万円)	10棟	1棟	10.0%
③概ね100戸以上 (1/2助成、上限4.5万円)	6棟	4棟	66.7%

[決算額] 173,378円(当初予算 590千円)

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
①地域協働オープン開催	0件	0件	0件
②マンション内限定開催	1件	1件	1件
③概ね100戸以上	4件	5件	4件

[第6期実施状況]

助成マンション

地区	築年数	総戸数	階数	内容	助成額
麴町	築39年	32戸	地上7階建	防災親睦会	8,195円
神田	築12年	108戸	地上21階建	納涼祭	30,183円
				クリスマス会	45,000円
	築15年	324戸	地上29階建	サマーコンサート ・納涼懇親会	45,000円
				クリスマスコンサ ート・懇親会	45,000円

[評価等]

比較的イベントの多い夏季及び冬季に申請がありました。さらなる制度の活用促進のため、助成限度額の見直しを行います。また、周知時期や内容等についても検討し、制度活用の促進を図ります。

f) コミュニティ・イベントへの参加

□事業内容

区で実施しているイベント「福祉まつり」「くらしの広場」に参加し、まちみらい千代田が実施している事業等を周知するとともに、マンション管理士による相談等を実施します。

また、町会等が実施する地域のイベントにまちみらい千代田のブースを設けて参加します。また、イベント実施時に機材を貸し出します。

□事業規模

実施項目	予定回数	第6期実績	達成率
イベント開催	4回	4回	100.0%
グッズ作製	1回	1回	100.0%

[決算額] 259,502 円 (当初予算 431 千円)

[第6期実施状況]

項目	日時・場所	内容
福祉まつり	10月20日(土) 区民ホール	パネル展示、チラシ、パンフレット、グッズ約200個の配布。
くらしの広場	11月9日(金) 区民ホール	パネル展示、チラシ、パンフレット、グッズ約300個の配布。
①JR 神田駅開業 100周年記念式典 ②番町の庭マルシェ	①3月1日(土) JR 神田駅 ②5月18日(日) 番町の庭	①グッズ約300個の配布。 ②グッズ約100個の配布。
グッズ作成	10月	まちみらい千代田のエコバッグ 1,200個を作成。

[評価等]

今期は新たにグッズ(エコバッグ(全5色・ロゴマーク入り))を作成しましたが、実用性の点から好評でした。第7期についても効果的にまちみらい千代田をPRできるようグッズを作成します。

g) マンション管理組合顧問派遣

□事業内容

高経年マンションの建物再生に向け、マンションの行く先を検討できる状況まで管理組合を支援していくためには、管理組合運営の適正化・管理規約の整備・長期修繕計画の作成、見直し等を最初に行う必要があります。初期段階の支援として、管理組合運営の適正化や建物の再生を進めるための規約・長期修繕計画等の整備を行い、管理組合運営の適正化を図るため、マンションの理事会や総会に出席し、助言・指導を行う顧問を派遣します。

□事業規模

予定件数	第6期実績	達成率
2件	0件	0.0%

[決算額] 0円（当初予算720千円）

[第6期実施状況]

千代田区は早くからマンション建設が始まったため、築年数の経過したマンションが多くあり、そのようなマンションでは、建物の再生が喫緊の課題となっています。

一方、千代田区のマンションは、管理会社へ管理業務委託を行っているマンションが全体の95%を超えているため、管理不全に陥っているマンションは少ないのが現状です。窓口や電話等での問い合わせや相談の際にも、できる限りアドバイザー派遣を活用してもらうことで、管理組合運営を円滑に進められるようにアドバイスを行っています。

[評価等]

まちみらい千代田が、顧問派遣の必要なマンションと判断した場合に限り実施している管理組合のセーフティネットです。

第6期で実施した「分譲マンション実態調査」結果を基に、今後マンションカルテを更新し、高経年マンションの選別、助成制度の活用状況の確認等を行い、各マンションの状況を把握します

3 建物維持・整備支援

a) 劣化診断等調査費助成

□事業内容

マンションの長期修繕計画の作成や大規模修繕工事を行う際には、事前に建物の現状把握のために劣化診断調査を行う必要があります。

第4期から簡易耐震診断への助成を行っています。

□事業規模

予定件数	第6期実績	達成率
9件	6件 ※	66.7%

※①劣化診断4件、②長期修繕計画2件、③簡易耐震診断0件

[決算額] 2,474,000円(当初予算 3,600千円)

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
①劣化診断	3件	7件	4件
②長期修繕計画	0件	3件	2件
③簡易耐震診断	0件	0件	0件

[第6期の実施状況]

建物の劣化診断調査のみの助成が4件、劣化診断調査と長期修繕計画の作成見直しが2件の合計6件です。

助成マンション

地区	築年数	総戸数	階数	助成額
麴町	築35年	21戸	地上6階建	22万5千円
	築35年	24戸	地上8階建	31万3千円
	築47年	33戸	地上10階建	69万3千円
神田	築15年	68戸	地上13階建	18万3千円
	築12年	99戸	地上24階建	50万円
	築15年	11戸	地上11階建	56万円

[評価等]

引き続き、大規模修繕工事の前だけではなく、長期修繕計画の見直しや作成の際にも、この制度を活用できること等をマンションの理事会等に出向いて説明し、既存のマンションを良好に保てるよう支援を続けます。

b) マンション再生方針検討助成

□事業内容

築後 30 年を経過したマンションで、建物再生の方針を検討する際の事前調査費用やコンサルタント費用等の一部を助成することで、合意形成を支援します。(助成内容：対象経費の1/3、上限 100万円)

□事業規模

予定件数	第6期実績	達成率
1件	3件	300.0%

[決算額] 1,861,000 円 (当初予算 1,000 千円)

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
件数	0件	0件	3件

[第6期の実施状況]

マンションの建替えや大規模修繕など、マンション再生についての相談があった場合や、アドバイザー派遣の際に、「高経年・旧耐震マンションの再生支援」パンフレットを配布し、制度説明を行ったうえで、活用を働きかけています。

助成マンション

地区	築年数	総戸数	階数	助成額
麴町	築 40 年	32 戸	地上 7 階建	18 万 1 千円
	築 47 年	33 戸	地上 10 階建	68 万円
	築 47 年	123 戸	地上 13 階建	100 万円

[評価等]

千代田区の特徴として、高経年マンションが増加し、建物の再生に向けた検討を始めるマンションが多くあることから、管理組合の理事会等へ出向いて説明することで、制度内容等をより一層周知していきます。

c) 大規模修繕工事債務保証料助成

□事業内容

住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）の共用部分リフォーム融資を受け、（公財）マンション管理センターに債務保証を委託した際に、保証料を助成しています。

（助成内容：上限 50 万円）

□事業規模

予定件数	第6期実績	達成率
2件	1件	50.0%

[決算額] 311,000 円（当初予算 1,000 千円）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
件数	1件	0件	1件

[第6期の実施状況]

この助成は前提として「住宅金融支援機構」や「マンション管理センター」の制度を活用する事業です。両団体とは定期的に連絡調整を行っています。

助成マンション

地区	築年数	総戸数	階数	助成額
麴町	築49年	73戸	地上11階建	31万1千円

[評価等]

引き続き、広報紙やウェブサイトなどに掲載するとともに、窓口相談やまちづくりアドバイザー派遣の際にもこの制度を説明していきます。

d) 再開発・共同建築等推進組織に対する助成

□事業内容

住宅を含む再開発や共同建替えを検討する団体に対し、平成 10 年からその活動費用の一部を助成しています。

(助成内容：年間 50 万円を上限、3 年間)

□事業規模

予定件数	第6期実績	達成率
2 件	1 件	50.0%

[決算額] 500,000 円 (当初予算 1,000 千円)

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
件数	1 件	1 件	1 件

[第6期の実施状況]

現在、神田地域において再開発計画があり、検討を行っている「再開発準備組合」の活動に対して 1 件 50 万円を助成しました。

地域	所有者	借地権者	規模	助成額
神田	17 名	112 名	24,500 m ²	50 万円

[評価等]

千代田区には高経年・旧耐震マンションが多く建っていることから、今後は共同建築や再開発の検討が進んでいくことが想定されます。

今後も窓口相談やアドバイザー派遣から、必要に応じて、当該制度の利用を働きかけます。

f) 安全・安心整備助成

□事業内容

共用階段等の「手すり設置や段差解消等」安全に資する工事を行う場合や、エレベーター（EV）の「地震時管制運転装置」・「戸開走行保護装置」が設置されていない場合及びエレベーターのリニューアル時に2装置と停電時自動着床装置を設置する際に、その費用の一部を助成します。

（対象経費の1/3、上限金額は手すり設置または段差解消等100万円、地震時管制装置30万円、戸開走行装置30万円、EV更新100万円）

また、防犯カメラの設置について助成をします。

（分譲マンションを対象に経費の1/2、上限金額は30万円）

□事業規模

助成項目	予定件数	第6期実績	達成率
①手すりの設置または、段差解消等の安全整備	2棟	1棟 73.5万円	50.0%
②地震時管制運転装置	2基	0基 0万円	0.0%
③戸開走行保護装置	2基	0基 0万円	0.0%
④3装置を含むEV更新	2基	6基600万円	300.0%
⑤防犯カメラの設置（分譲）	4棟	1棟 20.5万円	25.0%

[決算額] 6,940,000円（当初予算 6,400千円）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
①手すりの設置または、段差解消等の安全整備	2棟	2棟	1棟
②地震時管制運転装置	1基	0基	0基
③戸開走行保護装置	0基	1基	0基
④3装置を含むEV更新	2基	1基	6基
⑤防犯カメラの設置（分譲）	1棟	0棟	1棟

[第6期の実施状況]

「地震時管制運転装置」及び「戸開走行保護装置」の設置助成が達成率0%なのは、「3装置を含むエレベーターの更新」に含んでリニューアルするケースが多いためです。

手すりの設置または、段差解消等の安全整備

地区	築年数	総戸数	階数	助成額
麴町	築 11 年	128 戸	地上 17 階建	735,000 円

3装置を含むエレベーターの更新

地区	築年数	総戸数	階数	助成額
麴町	築 37 年	97 戸	地上 14 階建	1,000,000 円
	築 37 年	85 戸	地上 8 階建	1,000,000 円
	築 38 年	26 戸	地上 8 階建	1,000,000 円
	築 35 年	32 戸	地上 9 階建	1,000,000 円
	築 37 年	25 戸	地上 7 階建	1,000,000 円
	築 48 年	341 戸	地上 11 階建	1,000,000 円

防犯カメラの設置

地区	築年数	総戸数	階数	助成額
神田	築 12 年	108 戸	地上 21 階建	205,000 円

[評価等]

設置業者や管理会社からの問い合わせがあり、今後も申請が見込まれます。

第 6 期に実施したマンション実態調査の結果をもとに新しい支援内容を検討します。また、今後も情報紙やウェブサイトへの掲載、チラシの作成・配布等により制度内容を積極的に周知します。

4 防災対策促進支援

a) 防災計画等策定支援

□事業内容

マンションの防災計画策定を予定している管理組合に対して、防災アドバイザーを派遣し、そのマンションの実態に即した計画策定の支援を行います。また、防災計画策定に関連してマンション内の自主防災組織の立ち上げや防災訓練の実施についてもお手伝いします。

□事業規模

防災アドバイザー派遣 予定回数	第6期実績	達成率
100回（100棟）	4回（3棟）	4.0%（3.0%）

[決算額] 45,000円（当初予算 2,141千円）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
派遣回数	8回	2回	4回

[第6期の実施状況]

□派遣マンション

地区	築年数	総戸数	階数	防災計画
麴町	築15年	87戸	地上12階建	策定済み
	築18年	29戸	地上9階建	未策定
	築10年	58戸	地上15階建	策定済み

[評価等]

「日常の管理業務が手いっぱいであるため防災計画策定まで手が回らない」等の理由から防災アドバイザーの派遣実績が低くなっています。

今後は防災計画策定支援パンフレットの記載内容を見直し、より効果的な周知を行っていきます。

さらに、防災計画策定後には防災訓練の実施を働きかけていきます。

b) 防災用品等準備助成

防災計画を策定している又は検討している管理組合に対して、EV キャビネットの配付、AED の設置並びに災害用資器材等の購入費を助成します。

(1) EV キャビネットの配付

□事業内容

エレベーターでの閉じ込めの際、救助までの間に必要となる物資を入れたキャビネットを配付します。

(2) AED の設置

□事業内容

マンション内だけではなく近隣地域で利用できる AED をマンションに設置する場合、AED と収納ボックスを無償提供します。

(3) 災害用資器材等購入費助成

□事業内容

災害発生時に必要となる窓・ドアの破壊器具（バールやハンマー等）や避難器具、発電機や非常用テント等の資器材の購入、また、水や非常食、携帯トイレ等の備蓄物資の購入の一部費用を助成します。

□事業規模

項目	予定件数	第6期実績	達成率
EV キャビネットの配付	20 台	6 台	30.0%
AED の設置	30 台	3 台	10.0%
災害用資器材等購入費助成	新規 10 件 更新 6 件	4 件 1 件	31.3%

[決算額] 2,879,020 円（当初予算 6,150 千円）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
EV キャビネットの配付	3 台	4 台	6 台
AED の設置	9 台	5 台	3 台
災害用資器材等購入費助成	7 件	5 件	5 件

[第6期の実施状況]

支援マンション

地区	築年数	総戸数	階数	内容	助成額
麴町	築 48 年	54 戸	地上 8 階建	災害用資器材等購入費助成	66,000 円
	築 16 年	11 戸	地上 8 階建	災害用資器材等購入費助成	94,000 円
	築 2 年	55 戸	地上 12 階建	災害用資器材等購入費助成	71,000 円
				EVキャビネット	
	築 1 年	83 戸	地上 17 階建	EVキャビネット	
	築 47 年	19 戸	地上 8 階建	EVキャビネット	
	築 1 年	32 戸	地上 14 階建	災害用資器材等購入費助成	200,000 円
	築 5 年	505 戸	地上 40 階建	AED	
災害用資器材等購入費助成				200,000 円	
神田	築 18 年	19 戸	地上 8 階建	EVキャビネット	
	築 1 年	28 戸	地上 11 階建	EVキャビネット AED	
	築 1 年	57 戸	地上 14 階建	EVキャビネット AED	

[評価等]

AED の設置と EV キャビネットの配付申請を同時に行うなど、複数項目を同時に申請するマンションも出てきています。一方で、AED の設置スペース（雨が当たらず不特定多数の方が利用できる場所）の確保ができず、設置を断念される場合があります。

各種助成制度については、広報紙やチラシ、ウェブサイトなどで周知を強化していきます。

助成制度の活用を希望するマンションでは、マンション防災計画策定と一体的な事業であることから、計画策定を最優先とし、防災アドバイザーの派遣と連動して制度の活用を推進していきます。

Ⅱ 借上型区民住宅の管理運営

借上型区民住宅は、民間の地権者が建設した集合住宅を一定の期間（建設時から20年間）まちみらい千代田が一括して借り上げ、所得が一定基準の範囲内にある中堅所得層の世帯を対象にして賃貸する公的な住宅です。

入居者には世帯の所得に応じて家賃の一部助成があり、家賃負担を軽減するよう配慮されています。家賃（入居者負担額）・共益費・敷金（保証金）を除き、礼金、手数料、更新料などの負担はありません。

借上期間満了の時期も迫っていますが、区と連携し、入居者の生活基盤である住宅の適切な管理運営に努めていきます。

[第6期実施状況]

特優賃型住宅3棟のうち、2棟が借上期間満了となりました。

□借上型区民住宅一覧（特優賃型住宅）

建物名称（借上期限満了日）	住所	戸数	戸数計
パリセイド東神田（平成30年8月3日）	東神田3-2-1	16	43
コンフォート・タカシマ（令和1年5月31日）	岩本町1-2-1	12	
SHフラット（令和2年8月31日）	神田和泉町1	15	

a) 特優賃型住宅の管理運営

□事業内容

- ①入・退去管理
- ②家賃・共益費等の収納管理
- ③ 建物保守管理、共用部の維持管理
- ④ 居室内の小修繕対応
- ⑤ 所得調査、世帯員変更等の入居者管理
- ⑥ 調査報告書等の作成
- ⑦ 問い合わせ対応
- ⑧ 賃料・共益費の見直し
- ⑨ オーナーへの各種報告
- ⑩ 自治会の実施
- ⑪ その他住環境の良好な維持に関する業務

予定件数	第6期実績	達成率
通年	通年	100.0%

[決算額] 81,376,259円(当初予算 96,582千円)

[第6期実施状況]

1. 入退去管理(入居:0戸)(退去:7戸)

2. 家賃・共益費等の収納管理

月平均滞納戸数:3.8戸・月平均滞納額:1,877,887円

(前年同期間:5戸 1,302,193円)

滞納は昨年より増加しました。個別訪問にて滞納額減少に努めました。

3. 居室内の小修繕対応(対応戸数:8戸)

4. 所得調査、世帯員変更等の入居者管理(調査戸数:26戸)

5. 説明会の実施

借上期間満了を迎える住宅の入居者に対して、区住宅課、新管理会社とともに、それぞれ説明会を実施しました。

新たな管理会社になっても入居者が混乱しないように、世帯ごとに家族構成、所得などが違うため、入居者の状況に応じた丁寧な説明を行いました。

◎コンフォート・タカシマ

平成30年9月28日（金）岩本町ほほえみプラザ

平成31年4月18日（木）岩本町ほほえみプラザ

◎SHフラット

平成30年10月17日（水）千代田パークサイドプラザ

[評価等]

1. 建物の管理

住宅の年数経過により、共用・居室部ともに設備の劣化や不具合の問い合わせや要望に対し、建物設備管理会社、オーナーと連携し対応しました。

また、駐輪場や共用部（玄関前等）の使用のルールを再認識してもらうために、周知を徹底しました。

2. 居住者への支援と住宅所有者への引き継ぎ

住宅所有者への管理運営事務の引き継ぎにあたり、居住者に対しては激変緩和措置として、区は住替支援助成金50万円の支給や入居者負担額の急激な上昇を10年間10%ずつに緩和する負担額軽減措置による助成制度を創設しました。この制度を活用し、区と連携して住宅所有者への引き継ぎを円滑に行いました。

産業まちづくり

～地域産業の振興に向けて～

「働く」をテーマに、企業を活性化し地域社会との良好な関係作りのお手伝いをします

産業まちづくり		
I 中小企業支援	1	経営支援
		<ul style="list-style-type: none"> a) マネジメント・サポートデスクの実施 P 35 b) 専門家派遣等によるサポート P38 c) 会議室の提供 P40 d) ビジネス法律相談（拡充） P41 e) 中小企業雇用支援（新規試行） P42
	2	活性化成長支援
		<ul style="list-style-type: none"> a) 千代田ビジネス大賞の実施 P43 b) インキュベーション施設活動支援（拡充） P45 c) 地場産業活性化支援 P47
II		起業支援
		<ul style="list-style-type: none"> a) ビジネス起業塾の開催 P48
III		地方との連携
		<ul style="list-style-type: none"> a) 市町村サテライトオフィス東京の運営 P51 b) まちづくり会社等の地方の団体との交流連携方策の検討 P52 c) ちよだフードバレーネットワークの連携調整 P53

I 中小企業支援

1 経営支援

a) マネジメント・サポートデスクの実施

□事業内容

中小企業が抱える経営上の様々な相談を、窓口・電話・電子メールなどで受付、その相談内容に応じて、公的機関の実施している助成制度や補助金などの支援策を紹介・活用するなど、経営課題の解決に向けたサポートを実施します。

□事業規模

項目	予定回数	第6期実績	達成率
相談件数	90件	127件	141.1%
イベント等への参加回数	15回	16回	106.7%

[決算額] 120円 (当初予算 54千円)

[第6期実施状況]

年間予定件数を大きく上回る相談があり、達成率は予定件数比約141%でした。専門家派遣補助事業、ビジネス起業塾や法律についての相談等幅広い相談がありました。

○主な相談の種類

・専門家派遣補助事業	22件
・ビジネス起業塾に関する相談	18件
・法律についての相談（ビジネス法律相談斡旋）	17件
・特定創業支援事業関連の相談	15件
・ビジネス大賞に関する相談	14件
・融資または助成金に関する相談	14件
・起業相談	7件
・サイバーセキュリティについての協力要請	
・プラットフォームスクウェア入居相談	
・開業準備・会社設立	

- ・新規事業に対する支援策等 多数の相談がありました。

○相談に対する対応

相談については、内容に関わらず産業まちづくりグループが1次対応を行っています。また、相談内容が所管事業でない場合には、産業まちづくりグループから関係団体や区の所管課に対して、相談内容を事前に説明した上で相談者を案内するなど、スムーズに対処できる体制・連携を構築しています。

主な相談内容	対応
専門家派遣補助事業の手続きを知りたい。	申請から助成金支出までの流れ及び必要書類について説明。
起業のための勉強をしたい。	ビジネス起業塾のカリキュラム等の紹介をしたところ、受講を希望したため、申込受付。
事業に関する契約について相談したい。	相談内容を確認し、ビジネス法律相談が利用できる旨を伝えたところ、希望したため法律相談を実施。
特定創業支援事業を受けたい。	相談者が緊急の支援を希望していたため、区のワンストップ相談窓口を紹介。
登録免許税の減免を受けたい。	特定創業支援事業を受けることにより優遇措置を説明。
融資を受けたい。	区の商工融資係、金融機関と連携し、融資の施錠から実行までのサポートを実施。
千代田区内のインキュベーション施設を知りたい。	プラットフォームスクウェアをはじめ、まちみらい千代田発行の「施設案内」パンフレットを用いて、区内インキュベーション施設を紹介。

イベント等への参加については、年間予定回数に対して、達成率は106.7%でした。(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター、東京商工会議所千代田支部、日本政策金融公庫等の支援機関主催のイベント及び説明会に参加し、中小企業支援に関する情報収集を行

いました。また、過去のビジネス大賞表彰企業が出展する展示会等にも参加し、経営支援等のフォローアップを行いました。

[過去3年間の実績]

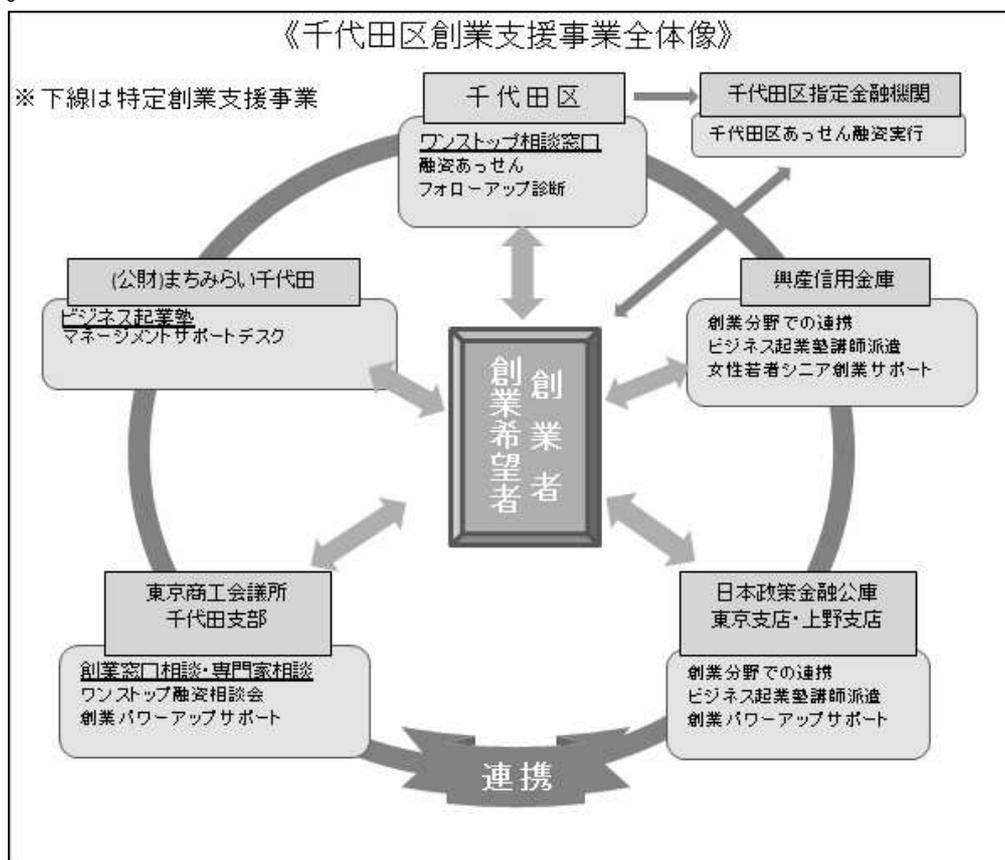
項目	第4期	第5期	第6期
相談件数	52件	89件	127件
イベント等への参加回数	—	15回	16回

[評価等]

区内中小企業に対し、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター等の助成制度の紹介を行いました。東京商工会議所千代田支部、日本政策金融公庫等のイベントやセミナー等に参加し、新たな支援策、助成制度の情報等を入手するとともに、千代田区と連携し創業支援のサポートを行いました。

創業に関する相談者に対しては、ビジネス起業塾や区のワンストップ相談窓口など、特定創業支援事業を受けることによる優遇措置の紹介を行いました。

相談件数が年々大幅に増加しており、起業・経営への関心の高さがうかがえます。



b) 専門家派遣等によるサポート

□事業内容

(公財)東京都中小企業振興公社が実施する専門家派遣事業及び(地独)東京都立産業技術研究センターが実施する実地技術支援を受けた企業に、その利用料金の一部を助成します。これにより、各機関の支援制度の活用を促進し、企業の負担の軽減を図ります。企業がそれぞれの機関から派遣される専門家のアドバイスを受やすくすることで、企業の抱える経営上の課題や技術的な課題の解決を図ります。

□事業規模（件数及び派遣回数）

項目	予定回数	第6期実績	達成率
専門家派遣	20社/160回	15社/104回	75.0%/65.0%
実地技術支援	3社/30回	2社/28回	66.7%/93.3%

[決算額]1,436,084円（当初予算2,004千円）

[第6期実施状況]

専門家派遣については、15社の申請があり、実地技術支援については、2社の申請がありました。

○専門家派遣の主な支援内容

- ・実店舗からの情報発信力の強化策
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた外国人対応策についてのコンサルティング
- ・ECサイトの売上向上
- ・経営全般（事業展開、売上分析）
- ・従業員雇用に関わる労務関係書類の整備等
- ・ITツール活用による顧客管理、営業管理
- ・経営、販路開拓の支援

○実地技術支援の主な支援内容

- ・商品企画について
- ・プロダクトデザインについて
- ・住宅市場、ホテル市場、オフィス市場のニーズについて

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
専門家派遣	22社/162回	19社/147回	15社/104回
実地技術支援	2社/25回	1社/20回	2社/28回

[評価等]

(公財) 東京都中小企業振興公社の専門家派遣は、予定数より5社少ない15社から申請がありました。予定数に達しなかった要因として、公社の予算編成上、上期に募集が集中した結果、10月には予算消化したため、下期での募集が大きく減少し、区内企業においても採択漏れがあったものと推測されます。区内企業の採択数を増やすため、第7期でも引き続き、東京都への予算増額等の要望伝えていきます。また、引き続き公社と連携し、千代田区内企業には公社への申請時にまちみらい千代田への申請書を直接渡してもらうことで、事業の周知及び申請漏れをなくすようにしていきます。

(地独) 東京都立産業技術研究センターの実地技術支援についても、千代田区内には製造工場等の施設はほとんどありませんが、製造系企業の本社は多数あるため、引き続き周知活動を図り、都内近郊の工場施設等に対する専門家の派遣を促していきます。

なお、周知及び利用拡大を促すため、第6期期末に募集チラシを作成し、第7期に向け区役所をはじめ各支援機関等に配布しました。

* 助成の仕組み

○ 専門家派遣

1回あたり23,100円の専門家派遣謝礼の半額を(公財)東京都中小企業振興公社が補助し、11,550円で最高8回まで利用できる制度ですが、さらにまちみらい千代田が1回あたり1万円を助成することで1,550円/回で専門家派遣を受けることができます。

○ 実地技術支援

1日11,500円(最長20日まで)で技術指導を受けられますが、まちみらい千代田が1日1万円の助成をすることで1,500円/日で利用できます。

c) 会議室の提供

□事業内容

用途に応じた広さの会議室や打合せ場所の少ない中小企業の実態から、ちよだプラットフォームスクウェア4階・5階の会議室を、区内中小企業等に廉価で貸し出し、企業活動を補助・支援します。

□事業規模

予定時間数	第6期実績	達成率
21,000 時間	19,665 時間	93.6%

[決算額]30,406,340 円 (当初予算額 30,917 千円)

[第6期実施状況]

5月の10連休を含め、前年対比で4月・5月の稼働率が特に低かったため、予定時間数に到達せず、93.6%の稼働実績となりました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
稼働時間	20,305 時間	16,985 時間	19,665 時間

[評価等]

運営委託会社に対し、利用者の意向把握を依頼し、その結果を踏まえた運営を進めていきます。

会議室	広さ	利用料(1時間あたり)	
		午前9時から午後0時まで	午後0時から午後10時まで
500会議室	18㎡	900円	1,000円
501会議室	37㎡	1,400円	1,700円
502会議室	32㎡	1,200円	1,600円
503会議室	33㎡	1,200円	1,600円
504会議室	59㎡	2,300円	2,600円
505会議室	53㎡	2,300円	2,600円
506会議室	56㎡	2,300円	2,600円
401会議室	61㎡	3,000円	3,400円
402会議室	53㎡	2,700円	3,100円

d) ビジネス法律相談（拡充）

□事業内容

自社内に法務担当を置くことが困難な中小企業において、契約や労務など事業活動中に発生する様々な法的対応が必要な事例に対して、的確な対応ができるよう弁護士によるアドバイスを受けられる事業です。（予約制）

□事業規模

予定回数	第6期実績	達成率
18回（9社）	16回（10社）	88.9%

[決算額]361,960円 （当初予算額 398千円）

[第6期実施状況]

第5期に引き続き随時受付を行い、利用者が希望する時間帯での相談を行いました。

第6期は16回（10社）の相談がありました。

主な相談として、契約に関する相談、債権債務に関する相談、個人情報の取り扱いに関する相談などがありました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
利用回数	8回（7社）	15回（11社）	16回（10社）

[評価等]

予定回数（18回）は下回りましたが、予定利用者数（9社）は上回る結果となりました。利用者数の内訳は新規とリピート利用する割合が半々となっています。利用者のほとんどがアンケート記載の「申し込みのきっかけ」を「ウェブページ」と回答していました。今後、新規利用者を増やしていくため、6期期末に作成したチラシで周知を強化し、新たな利用者の獲得を目指します。

e) 中小企業雇用支援（新規試行）

□事業内容

2017年の中小企業白書によると2013年以降、中小企業の全業種で人手不足になっている状況です。人手不足について問題を抱えている区内中小企業に対して、雇用支援につながる事業を展開していくために、区内中小企業の雇用状況や区内大学生の中小企業への意識調査、就職状況の調査を検討します。

□事業規模

実施内容	第6期実績	達成率
区内中小企業への調査検討	実施	100.0%
区内大学への調査検討	実施	100.0%
インターンシップに対する調査検討	実施	100.0%

[決算額] 10,742 円（当初予算額 50 千円）

[第6期実施状況]

中小企業の人材確保の状況、学生の中小企業に対する意識、大学就職支援担当の取組みを把握するため、中小企業雇用支援アンケートを実施しました。

調査は、明治大学・法政大学・専修大学・二松学舎大学・大妻女子大学・東京家政学院大学の6大学に協力いただきました。また、歴代の千代田ビジネス大賞受賞企業をはじめ、第6期のエントリー企業にも調査協力いただきました。

[評価等]

区内大学及び区内中小企業からのアンケート調査結果から、大学及び学生、中小企業、それぞれのニーズやギャップを把握することができました。特に福利厚生や社内の雰囲気、社内制度等に興味を持っている学生が多く、第7期に予定している中小企業雇用支援冊子の作成に際しては、福利厚生や勤務条件等、学生が興味を持っている情報を掲載していく予定です。なお、ご協力いただいた大学及び中小企業には、調査結果を送付し、大学及び中小企業の認識の共有を図りました。

2 活性化成長支援

a) 千代田ビジネス大賞の実施

□事業内容

中小企業の成長発展を支援する一環として、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる中小企業や他の企業の模範となる優れた中小企業を「千代田ビジネス大賞」で表彰します。これは、当該企業のさらなる発展のきっかけづくりを目的としています。

□事業規模

応募予定社数	第6期実績	達成率
30社	30社	100.0%

[決算額]4,470,914円（当初予算 5,410千円）

[第6期実施状況]

◇主な事業実施状況

- ・募集開始 平成30年6月20日（水）
- ・調査期間 平成30年8月～11月
- ・審査会 平成30年12月15日（土）
- ・諮問委員会 平成31年1月11日（金）
- ・表彰式 平成31年2月6日（水）
- ・フォローアップ経営相談 平成31年3月～令和元年5月

《第11回表彰企業》

賞の種類	表彰企業（全8社）
大賞	鈴木治作株式会社
千代田区長賞	株式会社ゲネシスコンマース
東京商工会議所千代田支部会長賞	株式会社ユニフォームネット
東京中小企業家同友会千代田支部長賞	株式会社タイム
優秀賞	株式会社ケアシステムズ
特別賞	一般社団法人ビーンズ
	FTI JAPAN 株式会社
	スケーラブルシステムズ株式会社

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
応募企業数	33社	30社	30社

[評価等]

例年より1ヶ月早い6月20日から募集を開始しましたが、関係団体への働きかけや個別対応による周知活動を行った結果、予定数を満たす30社の応募を得ることができました。

応募企業の業種は幅広く、IT開発業、ホームページ制作・Webマーケティング業、広告業、ビジネスマッチング業、情報処理業、小売業、福祉施設の運営事業、セキュリティ機器販売・施工、水産貿易、卸売業、ファイナンシャルプランニング業務、職業紹介業、不動産業、製造業、コンサルティング業、プラント配管機材専門商社等、多岐にわたる業界よりご応募いただきました。

また、受賞を逃した応募企業に対しフォローの経営診断を募ったところ、11社から応募があり、中小企業診断士による今後の課題・改善点等のアドバイスを行いました。

今後とも事業の周知を図るとともに、大賞の価値向上に努力することで、更なる応募増を目指します。



▲千代田ビジネス大賞ロゴマーク



▲第11回千代田ビジネス大賞表彰式

b) インキュベーション施設活動支援（拡充）

□事業内容

ちよだプラットフォームスクウェアの活用事業であるプラットフォームサービス株式会社をはじめ、千代田区内のインキュベーション施設（SOHO事業者・ベンチャー企業の支援施設）を運営する事業者の定期的な情報交換の場として「インキュベーション施設連絡協議会」を設け、相互の連携を深めていきます。

□事業規模

項目	予定回数	第6期実績	達成率
連絡協議会	1回	1回	100.0%
出張講座	2回	2回	100.0%

[決算額]37,978円（当初予算 116千円）

[第6期実施状況]

連絡協議会を5月23日に実施し、4施設が参加しました。各施設からの近況報告、課題等について説明が行われ、特にレンタルオフィスの価格設定やバーチャルオフィスの管理運営方法、契約時の規約などに関し活発な意見交換が行われました。後半は、（公財）東京都中小企業振興公社より助成金及び制度の紹介が行われ、その場で支援制度を申し込んだ施設がありました。

また、第6期の9月と2月に行った出張講座が好評で、ぜひ第7期も行ってほしいという声がありました。

出張講座アンケートでは、以下のようなコメントがありました。

- ネットで見ているだけでは知り得ない情報もあったので、有意義な時間でした。
- 起業には、資金調達などが重要となるので、今日のようなセミナーは今後お願いしたいです。
- 融資の担当の方から直接お話しを聞くことができたのが良かった。



*参加団体（施設）名

ちよだプラットフォームスクウェア 一番町インキュベーションセンター
 クリエーターズオフィス イイブリッジ ナレッジソサエティ
 四ツ谷レンタルオフィス アイオス永田町 EDITORY 神保町

[過去3年間の実績]（参加施設/加盟施設）

項目	第4期	第5期	第6期
協議会参加施設	7施設/8施設	4施設/8施設	4施設/7施設

[評価等]

第7期以降も引き続き協議会を定期的を開催することで、相互の連携を一層深めていきます。また、千代田区内には多数の施設が存在しています。その中からインキュベーション機能を持った施設（※注）に対して、協議会への参加を促し、メンバーの拡大に努めていきます。

※注 IM（インキュベーションマネージャー）が在籍する施設のことを指します。また、インキュベーション（英：Incubation）とは、英語で「(卵などが)ふ化する」という意味です。これになぞって、起業家の育成や新しいビジネスを支援するオフィスを、インキュベーション施設と呼んでいます。

c) 地場産業活性化支援

□事業内容

千代田区の地場産業である印刷関連産業の再生をめざして、まちみらい千代田と株式会社千代田印刷会館及びプラットフォームサービス株式会社の三者の協力により、まちみらい千代田が千代田印刷会館よりフロアを借受け、それをプラットフォームサービスに転貸することで保証金を無くし、また、リニューアルをまちみらい千代田が行い、その費用をプラットフォームサービスが長期分割返済する方式を採用することで、運営主体となるプラットフォームサービスのイニシャルコストを軽減し実現したものです。

この施設には、千代田区の地場産業である印刷関連産業が集積するインキュベーション施設として、印刷関連企業、メディア・映像・コンテンツ企業・情報関連企業を中心に入居しています。

□実施予定時期

通年

□事業規模

実施場所	第6期実績	達成率
3フロア (5階、6階、7階)	3フロア (5階、6階、7階)	100.0%

[決算額] 14,620,176 円 (当初予算 14,666 千円)

[第6期実施状況]

5月末現在の入居状況 17社 (空室1)

[今後の進め方]

平成31年5月末日、「印刷会館フロア賃貸」にかかる印刷会館、プラットフォームサービス、まちみらい千代田の三者間契約満了に伴い、契約を終了しました。地場産業活性化支援は、第6期をもって廃止とします。

II 起業支援

a) ビジネス起業塾の開催

□事業内容

経済社会の新陳代謝、経済への活力、新たな雇用の創出などが期待される起業を促進するため、起業を目指し、あるいは起業後間もない事業者などが、起業に際して必要な知識を取得し、スムーズに起業できることを目的とした講座を実施します。

女性を対象とした「女性起業家編」と、対象を限定しない「一般起業家編」、女性のニーズの多い業種の起業に特化した「業種特化編」の3コースに分けて実施します。

修了者に対しては、起業・事業展開につながるサポートとして、中小企業診断士による起業相談や、千代田区内で起業した修了者に対しては、創業資金の一部を補助します。また、継続的に起業後のフォローアップ相談も実施します。

□事業規模（予定回数及び実施回数）

1コース全9コマ 定員20名の講義を1セットとして実施し、全3コース実施します。

専門講座は3コース実施します。

講座名	予定コース数	第6期実績	達成率
女性起業家編	1コース	1コース	100.0%
一般起業家編	1コース	1コース	100.0%
業種特化編	1コース	1コース	100.0%
専門講座	3コース	3コース	100.0%

[決算額]3,223,467円（当初予算4,477千円）

[第6期実施状況]

○ビジネス起業塾事業実施状況

講座名	実施回数	実施期間	受講者数
女性起業家編	全9回	6月 7日～8月 2日	18名
一般起業家編	全9回	8月23日～10月18日	20名
業種特化編	全9回	10月19日～12月21日	20名
専門講座(財務)	全4回	2月 1日～2月28日	17名
専門講座(マーケ)	全4回	3月 7日～4月11日	10名
専門講座(事業計画)	全3回	4月25日～5月25日	7名

女性起業家編 18名、一般起業家編 24名、業種特化編 21名の応募がありました。託児サービスは、一般起業家編 1件の利用がありました。

受講後の受講者アンケートでは、「グループでお互いの意見を出し合うのは、とても参考になりました。」「何が自分に必要なのかを学べたので、今後の起業に向けて生かしたい。」「受講者とのディスカッション、情報交換を通じたブレインストーミングは、とてもためになると思いました。そのような時間が増えることを希望します。」「融資に特化した講義があったら受講してみたいです。」等、たくさんの意見をいただきました。

[過去3年間の実績] (各受講者数/応募者数)

	第4期	第5期	第6期
女性起業家編	20名/25名	20名/28名	18名/18名
一般起業家編	20名/24名	20名/25名	20名/24名
業種特化編	—	20名/22名	20名/21名
専門講座(財務)	16名/16名	5名/5名	17名/17名
専門講座(マーケ)	18名/18名	10名/14名	10名/12名
専門講座(事業計画)	—	4名/7名	7名/8名

[評価等]

特定創業支援事業の認定の対象となった修了生は、女性起業家編 13名、一般起業家編 18名、業種特化編 14名の合計 45名でした。

また、各コースの特徴は以下のような内容となりました。

女性起業家編では、40代が5割を占め、ついで50代、30代の構成でした。職業は、会社員が最も多く、ついで主婦、学校職員、自営業でした。

一般起業家編は、受講生の男女比が3：2の比率で、30代、40代が多く、20代から50代まで幅広い年代で構成されました。職業は、会社員が最も多く、ついで自営業、専業主婦、会社役員でした。託児利用者は1名でした。

業種特化編は、受講生の男女比が1：1の比率で、30代が最も多く、20代から60代まで網羅した構成でした。職業は、公務員、会社員が多く、ついで自営業、専業主婦、パート、会社役員でした。

また、ビジネス起業塾修了者起業支援補助金及びビジネス起業塾修了生フォローアップ相談については、講座の中で積極的に周知し、さらに利用を促していきます。

Ⅲ 地方との連携

a) 市町村サテライトオフィス東京の運営

□事業内容

プラットフォームスクウェア内にスペースを設け、単独では東京に拠点を設けるのが困難な地方の市町村等の活動拠点を安価に設置できるようにしています。また、各地方間の連携を図るため、利用団体間の情報交換や地域活性化のための勉強会を開催します。

□事業規模

項目	予定団体数	第6期実績	達成率
利用団体	18 団体	6 団体	33.3%

[決算額] 151,221 円 (当初予算額 517 千円)

[第6期実施状況]

10月4日に、ちよだフードバレーネットワークとの合同勉強会を開催しました。利用団体でメディアに取り上げられることが多い、島根県邑南町の寺本英仁氏から、「地方と都市とのこれからの関係～A級グルメ連合結成へ～」というテーマで講演していただきました。

利用促進のため、内閣府が実施した「地方創生推進交付金」の対象事業で地域商社事業を行う40自治体と、奈良県および三重県の人口10万人未満の49自治体にパンフレットなどを送付しました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
利用団体	9 団体	9 団体	6 団体

[評価等]

利用団体の解散などに伴い、利用団体数は第5期に比べて3団体の減少となりました。利用促進のために定期的にエリアを決めてパンフレットを送付しましたが、利用にはつながりませんでした。利用団体が減少傾向にあるため、これまでの周知活動以外に、第6期で実施した「まちづくり会社等の地方の団体との交流連携方策の検討」の中で訪問した団体へフォローアップを行い、新たなニーズの把握をすることで利用団体の増加につなげていきます。

b) まちづくり会社等の地方の団体との交流連携方策の検討

□事業内容

地方とは、フードバレーネットワークを通じて食と農を中心とした連携を行い、さまざまな支援を行っていますが、それ以外の産業への支援については、対象として扱いにくくなっているため、地域の産業を振興するようまちづくり会社との交流を深め、千代田区の資源や人材を活用した支援の方策を検討します。

□事業規模

項目	予定件数	第6期実績	達成率
訪問調査先	2自治体・団体	3団体	150.0%

[決算額] 327,162円 (当初予算 418千円)

[第6期実施状況]

- (1) <訪問>港都つるが株式会社(福井県敦賀市)
※第4期で行った「地方との連携の新たな取り組みに関する調査結果」を踏まえ、取り組み内容を検証し訪問先を選定しました。
- (2) まちづくり会社 98 団体に対してアンケートを実施しました。(回答: 13 団体)
- (3) <訪問>豊後高田市観光まちづくり株式会社(大分県豊後高田市)
- (4) <訪問>株式会社まちづくりやべ(熊本県山都町)
※アンケートの回答内容により、訪問先を選定しました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期実績	第5期実績	第6期実績
訪問調査先	—	1 団体	3 団体

[評価等]

これまで全国に100余り存在するまちづくり会社等の団体の中で、活動が活発で交流連携が図れる可能性のある団体について、調査を行いました。訪問によるヒアリングから、地域事業や移住のPR・人材の交流などのニーズがあることがわかりました。

これまでの実施内容を検証した結果、地方との連携の既存事業である「市町村サテライトオフィス東京」や「ちよだフードバレーネットワーク」を活用してもらい、ニーズをくみ取ることが最適と判断したため、第7期では事業を廃止とします。

c) ちよだフードバレーネットワークの連携調整

□事業内容

千代田区が持つ集客力、情報発信力を生かして、「場」の提供を求める地方都市との交流を深める考えから、千代田区商工振興基本計画の中で「農商工連携による地方都市との交流促進」をうたっています。千代田区商工振興基本計画の内容を踏まえ、区及び関係団体と連携し、生産地と消費地が協力し合い、互いの地域産業振興を図ることを目的に、ちよだフードバレーネットワーク（現在 54 市町村、地域団体が加入）の取り組みが効果的に推進できるよう調整を図ります。

具体例としては、フードバレーネットワークの加入団体に好評な、ちよだいちばの棚貸し事業への支援を行います。

□事業規模

イベント予定回数	第 6 期実績	達成率
4~5 回	15 回	300.0%

[決算額] 970,420 円（当初予算 1,480 千円）

[第 6 期実施状況]

〈連携先であるちよだフードバレーネットワークが実施した事業〉

(1) 市町村サテライトオフィス東京&ちよだフードバレーネットワーク合同勉強会（10月4日）

・島根県邑南町の寺本英仁氏の講演

「地方と都市とのこれからの関係～A 級グルメ連合結成へ～」

(2) 千代田区民農業体験ツアー

（※千代田区民が、ちよだフードバレーネットワーク加盟の自治体や地域で農業体験するためのツアー）

・埼玉県ときがわ町で枝豆収穫と和紙作り体験（10月6日、参加者 37 名）

・長野県東御市でりんご収穫体験とワイナリー見学（10月20日、参加者 34 名）

・福島県白河市大信地域で農家の酒「初舞台」の試飲と蔵元見学（12月16日、参加者 38 名）

- (3) ちよだ食農体験セミナー（会場はすべて千代田区内）
- ・あんずについての講話とあんずジャム作り教室（長野県長野市）（7月7日、参加者14名）
 - ・アップルパイ作り教室（長野県飯綱町）（9月30日、参加者30名）
 - ・ワインに合う、ぬか漬教室（長野県東御市）（11月11日、参加者30名）
 - ・鮭・いくら料理教室（岩手県大槌町）（12月15日、参加者20名）
 - ・味噌造りセミナー（山形県新庄市）（1月12日、参加者33名）
 - ・なべっこ遠足（秋田県五城目町）（1月20日、参加者4名）

- (4) 東京味わいフェスタ 2017 へ出店（10月5日～7日）
- ・有楽町エリアに亘理のいちご復興連携協議会が出店（亘理産いちごのジェラートの販売）

- (5) オータムマルシェの開催（11月23日～25日）
- 地方で育まれる“これぞ本物”という野菜や果物、加工品の販売。

（出店自治体・申し込み順）

- 岩手県大槌町 ○福島県白河市 ○福島県塙町 ○新潟県佐渡市
- 長野県飯綱町 ○静岡県西伊豆町 ○茨城県守谷市 ○埼玉県深谷市
- 埼玉県ときがわ町 ○大分県国東市 ○鹿児島県中種子町
- 島根県邑南町 ○山梨県韮崎市

（キッチンカー出店）

- 宮城県亘理町 ○島根県海士町

- (6) 大槌グルメフェアの開催（12月10日～23日）
- 千代田区内12の提携飲食店で大槌町直送の新鮮な食材を生かした限定メニューを提供。

（参加店舗）

- 神田いろは鮓 ○季節料理竹山 ○神保町吉野鮓 ○ちよだいちば
- 千代田区役所食堂 ○東京オープン ○日本料理割烹あさ乃
- 美食これくしょん神田倶楽部 ○風土は food から ○雅なだし
- 結ぶ食堂「しまゆし」 ○レストラン&カフェカトリア

(7) 大槌復興マルシェ・スプリングマルシェの開催（3月21日～24日）
大槌町をはじめ、地方で育まれた野菜や果物、加工品の販売。

（出店自治体）

- 岩手県大槌町 ○静岡県西伊豆町 ○秋田県東成瀬村
- 栃木県那珂川村 ○福島県塙町 ○茨城県取手市 ○埼玉県深谷市
- 愛媛県大洲市 ○山形県新庄・もがみ地域 ○山形県南陽市
- 茨城県かすみがうら市 ○千葉県山武市

（キッチンカー出店）

- 長野県飯綱町 ○岩手県釜石市 ○茨城県守谷市

(8) @番町の庭マルシェの開催（5月18日）

北は青森から、南は熊本まで日本各地の野菜や果物、加工品の販売。

（参加店舗）

- ジェベックジョル ○えひめ・中島 みかん伝道師
- ファーマーズファーム ○アースワークルーム
- 茨城県取手市 ○ケーキ工房 綵珠（あず）
- イータイムプラス／ポワンボワン ○ちよだいちば

<まちみらい千代田実施事業>

ちよだいちばへの支援

- ・ちよだいちばの売り場（棚）代の一部を補助
月額利用料 16 万円を千代田区が 8 万円、まちみらい千代田が 4 万円を補助 ※サブ利用（30 品程度）の場合は半額

○利用自治体・団体

- 6 月（埼玉県加須市）、7 月（静岡県西伊豆町／長野県富士見町）、
- 8 月（島根県邑南町／島根県西ノ島町）、9 月（山梨県韮崎市）、
- 10 月（福島県塙町）、11 月（長野県飯綱町）、12 月（茨城県取手市）、
- 1 月（千葉県山武市）、2 月（山口県下関市）、3 月（秋田県鹿角市）、
- 4 月（大分県竹田市）、5 月（長野県平戸市）

▼ちよだフードバレーネットワークの構成

（72自治体・地域団体（千代田区を含む）＋3団体）

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
イベント開催数	7回	7回	15回

[評価等]

千代田区内の飲食店で大槌町の特産品を提供した「大槌グルメフェア」は、はじめての試みにもかかわらず、実施後のアンケート結果では、参加店・来店者ともに好評で、地方の販路開拓につながりました。そのほかのちよだフードバレーネットワークの事業においても、まちみらいニュースなどで広報することで、区民の認知度が高まり、参加人数も増加傾向にあります。

第7期においても、広報での支援を継続するほか、ちよだフードバレーネットワークの参加団体に対して、市町村サテライトオフィス東京の新規利用についてアプローチするなど、事業間での連携を強化します。

千代田デイズ イベント情報

ウェブサイトイベント掲載ページ

まちみらいニュース5月20日号

協働まちづくり ～理解と協力のまちづくりに向けて～

「集う」をテーマに、皆で取組む魅力あるまちづくりのお手伝いをします

協働まちづくり			
I	まちづくり活動支援	a) 千代田まちづくりサポートの実施(拡充)	P58
		b) 区の花さくら再生基金の管理	P61
II	情報の発信と交流	a) まちみらいニュースの発行	P63
		b) 事業報告・交流会の実施	P64
		c) まちみらい千代田 ウェブサイトの運用(名称変更)	P65
III	調査研究等の実施	a) マンション実態調査(新規)	P66

I まちづくり活動支援

a) 千代田まちづくりサポートの実施（拡充）

□事業内容

本事業は、自主的なまちづくり活動を行っているグループに対してその活動経費の一部を助成するものです。今期も「はじめて部門」「一般部門」「テーマ部門」「普請部門」の4部門で在住・在勤などの枠を超えた多様なまちづくり活動を支援します。助成の公平性とグループ相互の交流を図るため、審査会や活動発表会はすべて公開方式で実施します。

また、同じ活動に対する助成は3年が限度となるため、その後の活動支援を行うこととしました。

□事業規模

項目	予定月	第6期実績	達成率
公開審査会	7月	7月22日	100.0%
中間発表会・普請部門二次審査	11月	11月18日	
活動成果発表会	4月	4月14日	

[決算額] 12,584,316 円 （当初予算 19,834 千円）

[第6期実施状況]

（公開審査会）

第5期において募集を行い、応募申請のあった18グループについて、7月22日に公開の場で審査を行い、14グループに対して助成を決定しました。

また、公開審査会の概要を記載した冊子「千代田まちづくりサポート通信第32号」を発行し、賛助会員・関係者などへ配布しました。

（はじめて交流会）

8月22日に協働契約先の一般社団法人千代田まちづくりプラットフォーム（以下、「まちプラ」という。）主催で、はじめて交流会を開催しました。助成決定を受けたグループが、それぞれの活動内容や協力できることなどを紹介し合うことで、同会が交流や連携のきっかけづくりの場となりました。

（中間発表会・普請部門二次審査）

発表を対話方式として、助成グループと審査会委員との対話を中心に構成したプログラムとしました。3つのグループに分かれ、3つの「つ」（つながる・

つたえる・つづける)をテーマに議論が行われました。

普請部門では、一次審査を通過した1グループが二次審査に臨みましたが、審査基準をすべて充足していないことから、継続審査となりました。4月の活動成果発表会の場でその経過を報告することになりました。

(活動成果発表会)

各助成グループからの年間の活動成果発表のほか、新たな試みとして過去に助成を行ったOBグループから、これまでの活動状況についての報告がありました。今年度の助成グループからは、活動を継続するうえでとても参考になったとの声が聞かれました。また、普請部門で継続審査となった1グループが進捗状況について、報告を行いました。報告内容から、審査に必要な書類提出後に引き続き審査を行うことになりました。

(市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議)

草加市(7月11日)、板橋区(12月3日)

公開審査型の市民活動助成を行っている自治体・団体に構成されている会議体へ参加しました。意見交換やまち歩きなどを通じて、各会員の課題等を共有し、まちづくり活動支援のあり方について、視野を広げました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
助成グループ数	14グループ	14グループ	14グループ
助成金総額	904万円	920万円	406万円

※第6期では、普請部門の1グループが継続審査中

[評価等]

前期に引き続き、助成グループや審査会委員OBを中心として、この事業のために設立されたまちプラと協働契約を締結し、事業運営を行いました。

今期はこれまであまり見られなかった助成グループ同士の交流やコラボレーションしたイベントが多く見られました。また、過去に普請部門で助成を受けたグループの拠点のほかのグループが活用するなど、地域の交流拠点として有効活用されていることから、普請部門の役割を再確認できました。

第7期でも引き続き、まちづくり活動の支援を行うほか、助成グループ同士の交流や連携が図れるように調整します。

＜助成グループと助成金額（総額：406万円）＞

部門	回数	グループ名	申請額 (万円)	助成額 (万円)
一般	3	文人通りギャラリーカフェ 「学び舎」	37	36
	3	神田プロレス	50	49
	2	一般社団法人神田をワインの街にしようの会	50	48
	2	一般社団法人 協働プラットフォーム	50	49
	2	Chee's	46	42
	1	三崎町 SMILE プロジェクト	18	18
	1	江戸長唄ごひいき衆	50	16
	1	かさらじお・どっとこむ@秋葉原	32	32
	1	東京都青果物商業協同組合 やっちゃんば秋葉原実行委員会	50	48
	1	今昔千写	50	14
	1	お茶の水ロボットクラブ	40	34
はじめて	—	NPO 法人芸術資源開発機構 (ARDA)	5	5
	—	Chiyoda Bon-dance Mates	5	5
普請 (一次)	—	「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム	10	10
普請 (二次)			500	継続 審査



b) 区の花さくら再生基金の管理

□事業内容

区の花さくらの周知活動や保全活動のための助成金となる基金の管理を行っています。

基金には「公益信託さくら基金」と「金銭信託さくら基金」の2種類があり、公益信託さくら基金は、さくらに関する普及啓発活動などに対してその活動費を助成しています。また、金銭信託さくら基金では、さくらを維持管理している団体に対して、その保全のためにかかる経費の一部を助成しています。

□事業規模

項目	予定件数	第6期実績	達成率
公益信託	7件	6件	85.7%
金銭信託	1件	1件	100.0%
合計	8件	7件	87.5%

[決算額] 6,502,266円 (当初予算 5,511千円)

[第6期実施状況]

7月12日開催の「千代田区さくら基金運営委員会」で、申請者から提出された申請書の内容について、審査が行われ、次ページのとおり助成を決定しました。

また、3月18日開催の「区の花さくら連絡会」では、さくらサポーター活動やさくらの樹勢調査結果について、運営委員と情報共有を図りました。

千鳥ヶ淵緑道のライトアップ期間中には、千代田さくらサポーター事務局(千代田区環境まちづくり部道路公園課)と協力して、募金活動に従事しました。

[評価等]

基金の残高推移や事務処理の進捗状況などについて、千代田さくらサポーター事務局や信託受託者(みずほ信託銀行)と定期的に打ち合わせを行い、情報の共有を図りました。今後も適正な基金管理を行います。

平成 30 年度公益信託さくら基金助成一覧表

No.	活動テーマ	申請者	助成金額 (円)
1	自然環境の基礎を理解し、さくら再生作業を行うことで、さくらに対する愛情を育み、継続的な保全を支援してゆく。 / さくら教室の開催	NPO法人 東京樹木医プロジェクト	500,000
2	さくらの多面的な魅力を幅広い層の人たちに発信することは、千代田区の桜再生事業に賛同者を増やすこと。桜を介した地域住民や在勤、在学者との交流の輪を拡大することにより、街の活性化に貢献すること。	桜を楽しむ会	80,000
3	区の花である「さくら」を基点とした環境問題の重要性及び地域環境に対する啓蒙活動	上智大学公開学習センター	54,000
4	さくら再生の募金活動・千鳥ヶ淵緑道周辺の美化活動・案内	さくら美守り隊	160,000
5	さくらサポーター事務局の運営	さくらサポーター事務局	500,000
6	区の花さくら連絡会の開催	区の花さくら連絡会事務局	350,000
合 計			1,644,000

平成 30 年度金銭信託さくら基金助成一覧表

No.	事業者	申請者	助成金額 (円)
1	区の花さくら再生事業	千代田区長 石川雅己	5,500,000

Ⅱ 情報の発信と交流

a) まちみらいニュースの発行

□事業内容

まちみらい千代田が実施する事業などについて、千代田区内に広く情報提供するため、「まちみらいニュース」を発行します。今期も二面構成とし、年12回、毎月20日に「広報千代田」折り込みで発行します。発行部数は、毎号50,000部です。

なお、紙面の一部を有料広告スペースとして活用し、発行コストの低減に努めます。

□事業規模（予定件数及び回数）

予定回数	第6期実績	進捗率
12回	12回	100.0%

[決算額] 3,244,574円（当初予算 3,398千円）

[第6期実施状況]

第5期に引き続き、読まれる広報紙を目指して、千代田まちづくりサポート事業で助成したグループのイベント情報や、マンションの維持管理・防災計画に関する情報や支援制度の紹介記事を掲載しました。

また、千代田ビジネス大賞受賞企業の紹介、ちよだフードバレーネットワークの取り組みの1つである「ちよだいちば」のイベント情報等を区民や区内企業に向けて広く発信しました。

[評価等]

新規・拡充事業やまちみらい千代田が実施するイベントを中心に記事を作成しました。

第7期では、より多くの区民に読まれる広報紙にするため、タブロイド版からA4版への紙面変更や、配布方法の変更などについて区の広報広聴課と検討していきます。そのなかで、まちみらい千代田の主要事業の周知にあたっては、実施事業の特集記事を掲載するとともに、ウェブサイトやSNSなどと連動した情報発信を行い、まちみらい千代田認知度の向上に努めます。

b) 事業報告・交流会の実施

□事業内容

まちみらい千代田の賛助会員をはじめ区民や企業等に対して、まちみらい千代田の事業内容・実施状況等の報告を行うとともに意見交換や交流を通して一層の支援をいただくほか、賛助会員の加入促進に努めます。

□実施日 平成30年10月4日(木)

□事業規模

予定回数	第6期実績	進捗率
1回	1回	100.0%

[決算額] 172,368円(当初予算 195千円)

[第6期実施状況]

今期は、より多くの方に参加してもらえるように、ちよだプラットフォームスクウェア周年記念事業と共同で開催しました。参加者は延べ134名で、イベントの冒頭に賛助会員への入会案内を行いました。

イベントは、記念講演とトークセッションおよび懇親会の3部構成で行い、自社PRのためのパンフレットブースを設置するとともに、異業種交流の場となる交流会を開催するなど、賛助会員の参加メリットは大きかったと考えられます。

なお、賛助会員には事前に、まちみらい千代田の第5期実施事業について、事業報告書および財務諸表を送付し、報告を行いました。

[過去3年間の実績]

項目	第4期	第5期	第6期
回数(参加人数)	1回(14名)	1回(20名)	1回(14名)

※参加人数=賛助会員

[評価等]

異業種交流の場を設けたことが、参加した賛助会員に好評でした。

第7期でも、ちよだプラットフォームスクウェア周年記念イベントと共催し、賛助会員の展示ブースを設けるなど工夫します。また、より多くの賛助会員が参加できるように事前周知を徹底します。

c) まちみらい千代田ウェブサイトの運用

(「まちみらい千代田ホームページの運用」から名称変更)

□事業内容

公益財団法人まちみらい千代田の公式ウェブサイトとして、まちみらい千代田の公式情報を公開するとともに、まちみらい千代田の事業周知の有効なツールとしてウェブサイトを運用します。

地域イベント情報や、まちみらいニュース掲載記事、実施事業情報など、千代田区・まちみらい千代田に関連する情報を掲載し、新たな活動や生活への手かかりを提供します。

ウェブサイト利用増加のための導線として SNS (Twitter・Facebook) も連携させて、多くの方への情報発信を行います。

□事業規模

予定時期	第 6 期実績	達成率
通年	随時更新	100.0%

[決算額] 1,102,140 円 (当初予算 1,358 千円)

[第 6 期実施状況]

まちみらい千代田が実施する主要事業の周知や募集のほか、地域や賛助会員企業のイベント情報および区民から投稿された写真などを随時掲載しました。

また、ウェブサイトを管理するうえで、千代田区が実施したセキュリティ診断結果をもとに、危険度の高いシステム上の不具合改善を図りました。

そのほか SNS (Twitter・Facebook) を活用し、ウェブサイトや広報紙へ掲載した記事と連動させ、不特定多数の人への情報発信に努めました。

[評価等]

ウェブサイト利用増加のための導線として、SNS を活用し、実施イベント等の周知を図りました。その利用状況について、ウェブサイトへのアクセス状況を解析した結果、Facebook からの流入が一番多いことがわかりました。そのため、第 7 期では、情報の拡散性に優れている Facebook 広告を試行導入し、まちみらい千代田の認知度向上と実施事業の周知につなげます。

Ⅲ 調査研究等の実施

a) マンション実態調査（新規）

□事業内容

これまで「千代田区分譲マンション実態調査」（平成26年3月）をもとに約3千棟の基本的な事項についての調査を実施した「千代田区共同住宅実態調査」（平成27年5月）の結果をマンションカルテとして作成するためデータ化及びシステム構築の委託を行いました。（平成28年3月）

今期は、マンションの基本的なデータ収集及び、多くのマンションが抱える問題である、『空き駐車場問題』や『修繕積立金不足』により計画通りの修繕工事ができないなどの様々な問題に対応するべく、区内マンションの機械式駐車場等の空き状況や運用状況について、マンションの修繕積立金について、現地調査やヒアリング調査を実施します。さらに調査結果をデータベースに反映させ、最新版へ更新します。

□事業規模

調査実施時期	第6期実績	達成率
通年	調査終了	100.0%

[決算額] 6,941,905 円（当初予算 7,000 千円）

[第6期実施状況]

概ね5年毎に実施している「千代田区分譲マンション実態調査」を実施しました。今回の調査では、調査実施時点で把握していた、区内分譲マンション463棟に対して、建物の概況及び管理状況等を把握し、報告書としてとりまとめました。調査結果は、マンション支援施策検討ための基礎データとして活用していきます。

調査票発送件数

地域	麴町	富士見	神保町	神田公園	万世橋	和泉橋	合計
件数	178	74	41	37	41	92	463

調査票回収件数（回収率 65.2%）

地域	麴町	富士見	神保町	神田公園	万世橋	和泉橋	合計
件数	102	50	26	24	27	73	302

[評価等]

千代田区が実施した「千代田区マンション管理に関するアンケート調査」との調整が生じたため、調査の時期を変更して開始しましたが、アンケートは65%を超える回収率となりました。郵送によるアンケート調査の他、未回収のマンションに対しては、現地確認及びヒアリングを行いながら回収し、回収率の向上に努めました。

今後は、当該調査結果を基に、区内の分譲マンションで必要とされる支援施策の検討を行い、マンション管理組合及びマンション居住者に対して一層の支援を行っていきます。

理事会・評議員会・監査

定款第21条及び第42条に基づき開催した評議員会及び理事会では、次のとおり各議事について、可決及び承認を得ました。また、定款第35条の規定に基づき実施された監査において、事業報告及び決算はいずれも適正と認められました。

(1) 理事会の開催状況

回数	開催年月日	番号	件名
第1回	平成30年 7月25日(水)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田第5期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田第5期決算(案)について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について
第2回	平成30年 12月6日(木)	議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会の開催について
第3回	平成31年 3月29日(金) 書面決議	議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田事務局長の任免について
		議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田処務規程の一部改正について
		議案第7号	公益財団法人まちみらい千代田財務規程の一部改正について
		議案第8号	公益財団法人まちみらい千代田監事監査規程の一部改正について
		議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田育児休業に関する規程の一部改正について

回数	開催年月日	番号	件名
第3回	平成31年 3月29日(金) 書面決議	議案第10号	議決日について
第4回	平成31年 4月24日(水)	議案第11号	公益財団法人まちみらい千代田第7期 事業計画(案)について
		議案第12号	公益財団法人まちみらい千代田第7期 収支予算(案)について
		議案第13号	公益財団法人まちみらい千代田処務規 程の一部を改正する規則について
		議案第14号	公益財団法人まちみらい千代田元号を 改める政令の施行に伴う関係規定の整 理に関する規程について
		議案第15号	公益財団法人まちみらい千代田評議員 会の開催について

(2) 評議員会の開催状況

回数	開催年月日	番号	件名
第1回	平成30年 8月24日(金)	議案第1号	公益財団法人まちみらい千代田第5期事業報告(案)について
		議案第2号	公益財団法人まちみらい千代田第5期決算(案)について
		議案第3号	公益財団法人まちみらい千代田評議員の選任について
第2回	平成30年 12月19日(水)		◎第6期事業実施状況中間報告
第3回	令和元年 5月22日(水)	議案第4号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会会長の互選について
		議案第5号	公益財団法人まちみらい千代田評議員会副会長の互選について
		議案第6号	公益財団法人まちみらい千代田理事の選任について
		議案第7号	公益財団法人まちみらい千代田監事の選任について
		議案第8号	公益財団法人まちみらい千代田役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第9号	公益財団法人まちみらい千代田第7期事業計画(案)について
		議案第10号	公益財団法人まちみらい千代田第7期収支予算(案)について

(3) 監査の実施

①中間監査

実施日 平成30年1月28日(月)

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 4階 会議室

内 容 (1) 公益財団法人まちみらい千代田第6期事業中間報告
(2) 公益財団法人まちみらい千代田第6期中間時点での財務諸表

②決算監査

実施日 令和元年7月16日(火)

場 所 公益財団法人まちみらい千代田 4階 打合せコーナー

内 容 (1) 公益財団法人まちみらい千代田第6期事業報告
(2) 公益財団法人まちみらい千代田第6期決算